

< コロナ禍における私幼団体の実態調査 >

仙 台 市

1. コロナ禍での行政とのやり取りがどの様に行われているか

- ・仙台市担当課から、保育所、学校等への文書を連合会にも送信してくる。連合会では仙台市から「保育所、学校等への文書」として各園に発信する。
- ・教育振興大会をはじめ各種大会が中止となったので、市長・議長に対して、大会の「大会宣言」に替わるものとして、連合会・PTA 連合会として「要望書」を代表が提出する。
- ・仙台市独自政策で、「児童施設等職員慰労金」として、幼稚園・認定こども園を含む施設職員に一律5万円を支給する。
- ・市の幼稚園担当部局から、「教員採用及び園児募集」について、仙台市として支援できることがあれば申し出てほしい、との要請がある。

2. 各政令市で感染者が出た時に、市がどこまで発表して、私幼団体がどこまで、どのように加盟園に伝えているか

- ・幼稚園児が感染した場合でも、仙台市から各園及び連合会への通知はない。園名も報道されていない。
- ・連合会から仙台市保健所「感染症対策係」へ質問事項を提出し、園での対応を文書として回答してもらい、各園に配布した。

3. 研修会をどの様に行っているか

[仙台市私立幼稚園連合会 主催研修会について]

- ・研修会計画は、10日間、18講座予定。
実施したのは、
 - ・新任教員研修会 ～ 講座の4分の1をオンラインで実施
 - ・園長研修会 ～ 市担当課への要望事項「無償化事務作業」への回答、感染症対策係への質問事項「コロナ感染予防対策」への回答。
の2講座のみ実施する。
- ・新任教員へ向けて、期待と励ましを込めた『新任の先生に贈る”エール号！”』を発行し、新任だけでなく全教員に配布する。

4. 予算が執行できない状況でどのように処理する予定でいるか

- ・決算で連合会の年間収支による残高は、次年度へ繰り越す。
- ・仙台市からの研修補助金は、年度末に精算し残額分は返戻する。

5. 就職に向けての学生とのつながりをどの様にとらえているか、また実行しているか

- ・養成校への周知 ⇒ 学生に対して、「園見学の案内」を配布する。幼稚園連合会のホームページにも掲載する。
(養成校の担当者から配布希望部数を聞き取る；1,600部配布)
- ・『幼稚園・認定こども園の先生を目指す皆さんへ！』のパンフレットを学生に配布する。
(1,600部)
- ・令和3年度教員の各園の不足数について一覧表を作成し、養成校に掲示してもらい、更に学生に配布する。幼稚園連合会のホームページにも掲載する。